

視点(962)

世界の小売業07年度売上高の順位

2007年度の世界の「食品・雑貨小売チェーン」の売上ランキング30位は次の通りです(日経MJ・2008年7月4日号、英国のプラネットリテール調べ)。

順位	社名	国名	売上高	順位	社名	国名	売上高
1(1)	ウォルマート・ストアーズ	米	395,305	16(12)	カジノ	仏	58,984
2(2)	カルフル	仏	142,229	17(17)	ウォルグリーン	米	58,637
3(4)	テスコ	英	103,573	18(18)	エデカ	独	53,113
4(3)	メトロ	独	102,942	19(19)	C V S	米	47,431
5(5)	セブン&アイ	日	84,375	20(20)	セーフウェイ	米	46,275
6(7)	クローガー	米	73,633	21(21)	ルクレール	仏	46,155
7(14)	イオン	日	73,416	22(22)	ITM(インターマルシェ)	仏	42,488
8(10)	ターゲット	米	71,125	23(24)	ウールワース	豪	42,233
9(13)	シュバルツ	独	70,969	24(25)	スーパーバリュー	米	40,635
10(9)	コストコ	米	69,704	25(23)	セインズベリー	英	39,194
11(8)	シアーズ	米	68,624	26(26)	テンゲルマン	独	36,684
12(11)	レーベ	独	66,679	27(27)	コールス・グループ	豪	31,435
13(15)	アルディ	独	64,461	28(-)	エル・コルテ・イングレス	スペイン	29,025
14(6)	アホールド	オランダ	63,138	29(28)	ロブロウ	カナダ	28,781
15(16)	オーシャン	仏	62,854	30(30)	モリソンズ	英	28,225

(注)単位：百万ドル、カッコ内は06年度順位、為替レートは07年平均

圧倒的な強さで世界の一番店は「ウォルマート・ストアーズ」であり、実に43.5兆円(1ドル=110円)であり、ドル換算で2.8倍の差をつけています。1位はダントツのウォルマートですが、2位(カルフル)、3位(テスコ)、4位(メトロ)はドングリの背比べ状態で並んでいます。その後に日本が続いており、コンビニエンスストアの分野で圧倒的強みを持っている「セブン&アイ」(9.3兆円)が5位、サティとダイエーを持ち分法適用会社にした「イオン」(8.1兆円)が7位となっています。流通業界は、国内戦略から国外戦略へと、マーケットを移しています。

英国の「テスコ」は、韓国やハンガリー、タイなどで高いシェアを獲得し、売上を伸ばしています。ヨーロッパがEUによって1つのマーケット化し、また、新興国市場が成長して大きなマーケットに変化しており、流通の国際化戦略はますます活発になります。

日本でも少子高齢化によりマーケットが縮小化(?)しているため、国内マーケットだけでなく、中国、インド、ロシアやEU...等を含めた50億人マーケットという言葉が使われています。日本の持つ質的な要素を考慮した商品は、世界中の消費者に支持されるはずで、50億の消費者をマーケットとすると、すばらしい流通企業が育成されます。また、今後は、アメリカ国内の消費の停滞により、日本へのアメリカ企業の進出が増大することが予想されます。

(株)ダイナミックマーケティング社³
代表 六 軍 秀 之